

平成28年度特別養護老人ホームふくしあ事業実績報告書

第1 総括

平成28年度も、ご利用者の人権と主体性を尊重した生活づくりのため、その人の有する能力を発揮し、より自立した日常生活が営まれるよう、食事・入浴・排泄等への援助や介護の充実に努めました。

また、ご利用者の希望のもと施設内活動だけではなく、外出・地域行事への参加など施設外活動に取り組むなど、楽しみやふれあいのある生活づくりに努めました。

平成28年度についても、40床4ユニット体制で運営をしました。年度途中より、夜間職員配置加算及び日常生活継続支援加算を取得しました。

なお、水害による影響で緊急的に同法人施設一味園のご利用者の避難受け入れをするとともに、その後、富良野市内の施設に避難されていました、高齢者生活支援ハウスくるみ園のご利用者6名の受け入れを行い、ふくしあのご利用者様と一緒に行事等を楽しまれるなどの避難生活の緊急的な受入れ貢献を行いました。

なお、平成28年度の主要な項目は次のとおりです。

1. ご利用者の年間平均介護度は前年度の4.03に対し、今年度も4.03（平成29年3月末現在）となりました。

ご利用者への介護支援においては、個々人の心身の状況やニーズに応じた個別支援計画を作成するとともに、適時ケースカンファレンスを実施し、寝たままの食事、入浴、排泄はしない、させないための日常生活支援と一人ひとりのニーズに合わせた生活ケアへの取り組みを進め、安全で潤いのある施設生活づくりに努めました。

2. ご利用者の食事・栄養サービスに関し昨年度同様、管理栄養士を中心に喫食量、身体状況、咀嚼・嚥下機能等の個々の状態に応じたケアプランを策定し、低栄養状態の予防・改善や脱水対策、便秘対策などに取り組み、栄養状態の維持改善及びQOLの維持・向上に努めました。

また、食事委員会を中心に毎月開催されている行事食（喫茶や蕎麦打ち、バイキング等）やユニットごとの行事食を通じて、ご利用者間の触れ合いや楽しみのある食事提供の充実に努めました。

3. ご利用者の排泄については、「おむつゼロ」を継続し、「下剤に頼らない自然排便」を目指し、起床時の冷水の飲用や食物繊維の服用と食後のトイレ誘導等の生活習慣に加え排便を促せるよう取り組みました。
4. 健康管理と感染対策においては、ノロウイルス・インフルエンザ等感染症を発生させることなく経過することができました。
5. 家族会事業の施設内外環境美化事業や秋のお食事会では、ご利用者・ご家族等の交流が図られました。また、ご利用者の地域行事（運動会・学芸会・湖水祭り等）への参加や夏祭りの開催では地域住民の参加をいただき、地域に根ざした施設づくりに取り組みました。
6. 職員の介護技術等のスキル向上は、各種項目別の内部研修会を毎月開催し利用者一人ひとりと向き合い、安全に安心して移乗、移動ができるよう技術の向上に努めました。

第2 ふくしあ入所者の状況

平成29年3月31日

1. 要介護度別状況と費用負担分類

要介護度	男性	女性	計	構成比	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
要介護1	0	2	2	5.0%		2		
要介護2	0	1	1	2.5%		1		
要介護3	2	2	4	10.0%		2	1	
要介護4	4	9	13	32.5%	1	6	4	2
要介護5	5	15	20	50.0%	1	8	8	4
合計	11	29	40	100.0%	2	19	13	6

2. 保険者(出身地)の状況

市町村	男性	女性	計
富良野市	2	13	15
南富良野町	4	7	11
上富良野町	3	1	4
中富良野町	0	2	2
占冠村	1	4	5
旭川市	1	2	3
その他	0	0	0
合計	11	29	40

3. 在所期間の状況

期間	計
6ヶ月未満	4
6ヶ月以上1年未満	4
1年以上2年未満	8
2年以上3年未満	1
3年以上4年未満	2
4年以上5年未満	2
5年半以上	19
合計	40

4. 年齢別構成

年齢階層	男性	女性	計	構成比	備考
65～69歳	0	0	0	0.0%	平均年齢…89歳0カ月 最高年齢…男性：97歳7カ月 女性：101歳2ヶ月 最若年齢…男性：79歳2カ月 女性：71歳9カ月
70～74歳	0	2	2	5.0%	
75～79歳	1	3	4	10.0%	
80～84歳	4	4	8	20.0%	
85～89歳	4	7	11	27.5%	
90～94歳	1	7	8	20.0%	
95歳以上	1	6	7	17.5%	
合計	11	29	40	100.0%	

第3 運営組織と職員研修

1. 組織体制

区分	施設長	総務課	介護課	医務課	嘱託医	合計
男性	1	4 (2)	12 (0)		1 (1)	18 (3)
女性		6 (5)	10 (1)	3 (1)		19 (7)
合計	1	10 (7)	22 (1)	3 (1)	1 (1)	37 (10)

※ うち () は嘱託、臨時職員、パート職員

2. 職員研修

(1) 関係機関の開催する各種研修会に次のとおり参加しました。

研修実施機関	参加職員	延人員
北海道社会福祉協議会	施設長、介護員、事務員	4人
道北老人福祉施設協議会	施設長、看護師、介護員、相談員	6人
その他の団体	施設長、介護員、事務員、看護師、介護支援専門員	6人

(2) 施設主催による各種研修会は次のとおり実施しました。

研修名	開催回数	延人員
施設内学習会等	10回	70名 (全職員対象)
法人・施設学習会(外部講師)	1回	10名 (全職員対象)
人事考課者研修	5回	40名(役職者・職員対象)

第4 事業概要及び実績

事業提供	事業の内容	
介護課・医務課	日常生活支援・介護	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の残存機能を生かし、寝たままの食事・入浴・排泄はしない・させないための日中活動支援や軽運動、レクリエーション行事等を実施し、日中生活動作の維持向上に努めました。
	食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> 食事時間は、朝食8時、昼食12時、夕食18時を基本とするも、ご利用者のこれまでの生活習慣や体調に応じた食事時間や場所を配慮し提供を行いました。 ご利用者の嚥下や咀嚼状態に応じた食事形態を提供するとともに、食事量の少ないご利用者については補助食品等で栄養補給を行いました。 胃ろうの方に対しても、少しでも口から味わっていただけるよう、全職種が協力・共同して安全に配慮しながら、経口摂取に取り組みました。 「食」に関する行事(喫茶・蕎麦打ち・バイキング等)の開催は好評で、ご利用者同士のふれあいも深まりました。 行事等では炊飯や調理をユニットで行い、ご利用者の配膳等のお手伝いや職員との調理などを通じ楽しみのある食事提供に努めました。

事業提供		事業の内容
介護	入浴支援	<ul style="list-style-type: none"> ・桜湯・薔薇湯・ラベンダー湯・ミカン湯等の提供により、季節を感じる事ができる入浴を実施しました。 ・温泉日帰り旅行の実施や施設内露天風呂を活用し、入浴を通じてご利用者一人ひとりと関わるよう努めました。 ・各ユニットにあるヒバ浴槽でのゆとりある入浴とひとり浴（家庭浴）介助の技術研修を行い、安全な入浴支援に努めました。
	排泄支援	<ul style="list-style-type: none"> ・下剤に頼らない自然排便を促すケアに引き続き取り組みました。 ・トイレに行けず紙オムツに排泄をしていた新規入所者に対してもトイレで排泄ができるよう支援し、紙オムツから布パンツへ、またより小さなパッドへ移行できるように取り組みました。
	行事・レクリエーション等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の運動会や学芸会、地元のお祭り等地域行事へ積極的に参加し、地域とのふれあいを図りました。 ・夏祭り、秋のお食事会、クリスマス会、節分、ひな祭り等の季節を大切にされた全体行事に取り組みました。 ・旅行や外食、買い物やドライブなどの施設外活動を実施し、ご利用者のニーズに応じたサービスの提供に努めました。
	利用者の健康管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医の定期診察及び適時のバイタル測定によるご利用者の健康状態の把握と症状に応じ専門機関への受診・治療を行いました。 ・毎日の水分摂取量と排泄状況をチェックし、脱水の予防と排泄パターンの把握に努め、適切な排泄方法や手段を検討の上、個別ケアに取り組みました。 ・歯科医師の協力を得て、口腔ケアマネジメント計画を作成し、口腔機能の低下防止対策に取り組みました。 ・インフルエンザワクチン接種など感染予防対策に努めました。 ・感染症（ノロウイルス等）が発生しないよう、研修会を実施し各部署間の連携を持って進めました。
医務	家族等との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのご家族や地域の方々が来場された夏まつりやご家族の参加のもと開催されました秋のお食事会などを通じてご家族・地域との交流を図りました。 ・家族会行事として施設内外の環境美化事業及び食事会を実施し、家族同士等の交流促進を図りました。 ・ご家族からの希望に応じた外出・外泊に取り組みました。 ・ご家族等の面会の際には、ご利用者の近況情報を提供するとともに、担当者から定期的な手紙で近況の様子を報告、ご利用者活動の支援の推進に努めました。
	ターミナルケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル期にあるご利用者やご家族等に対し、嘱託医を交えた面談のうえ、ご利用者に配慮した看取り支援をご家族とともに取り組みました。今年度は8名のご利用者の看取りを行いました。
	介護支援計画による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の生活習慣や心身の状況等を踏まえたケアプランを策定の上、適時ケースカンファレンスを実施し生活の質の向上に努めました。

事業提供		事業の内容
介護	防災対策	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を年3回実施し、うち通報訓練も年3回行うとともに、消防署立会のもと消火訓練も合わせて実施しました。 災害発生時の対応のため、食料の備蓄やその他物品の充足に努めました。
	地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> 地元小中学校からの訪問や総合学習のための受け入れと講師派遣、感謝祭など地域行事への参加、小学校運動会や学芸会等の行事にも参加し、地域との交流を推進しました。
課	利用契約	<ul style="list-style-type: none"> 入所に際しては、ご家族等の契約者に対し施設サービスの提供内容や利用料などについて説明の上、契約締結を行いました。 苦情受付担当者等を定め、サービス内容への苦情等に対応する体制を整備し対応しました。
	・ 研修事業	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体等が開催する研修会への参加と外部講師や看護師による定期的な施設内学習会やトランス勉強会を開催し、専門知識と介護技術の向上に努めました。
	会議・委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 定例の職員会議、給食会議をはじめ、役職者会議、ユニット会議、ケース会議などを適時開催し、職員相互の連携と個別ケアの充実に努めました。 食事・排泄・入浴等の各種委員会を開催し、統一した業務執行と今後の事業や個別援助の取り組みへの推進に努めました。
総務課	財務管理	<ul style="list-style-type: none"> 介護請求管理システム及び財務・給与管理システムによる効率的な事務処理を推進しました。 介護報酬収入を踏まえた効率的な物品の購入や事務事業経費の節約に努めました。
	職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 職員の定期健康診断及び生活習慣病予防検診を実施するとともに、ノロウィルス対策学習会の開催や職員会議等での手洗い、うがいの励行周知など職員自らの健康管理に対する意識の向上を図りました。
	交通安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議等での安全運転への喚起を促し、セーフティラリーに参加することで交通安全に対する意識の向上を図りました。
	広報関係	<ul style="list-style-type: none"> 例年同様、定期的に広報誌を発行するとともに、ホームページ掲載用の広報誌も作成しアップしました。 また、日々の様子をブログにし、その都度更新開示をしました。

第5 年間事業実績

平成28年度の年間事業実績は別紙1のとおりです。